

Handwritten notes in Japanese, possibly a signature or address, located at the top of the right page.

第二野島同窓會駐滬資務員  
吉田英三

昭和二十五年十月二十四日

次への意をあらわすに用する

米國海軍總司令部調査部からの要求により日本海軍省に隨同刺の發出し  
回答、史實調査部から一九四五年十月十三日樹覽書AV第1號を以て  
限取「一九四五年十月十八日樹、海軍總司令部海軍省會第1號ニ據ル



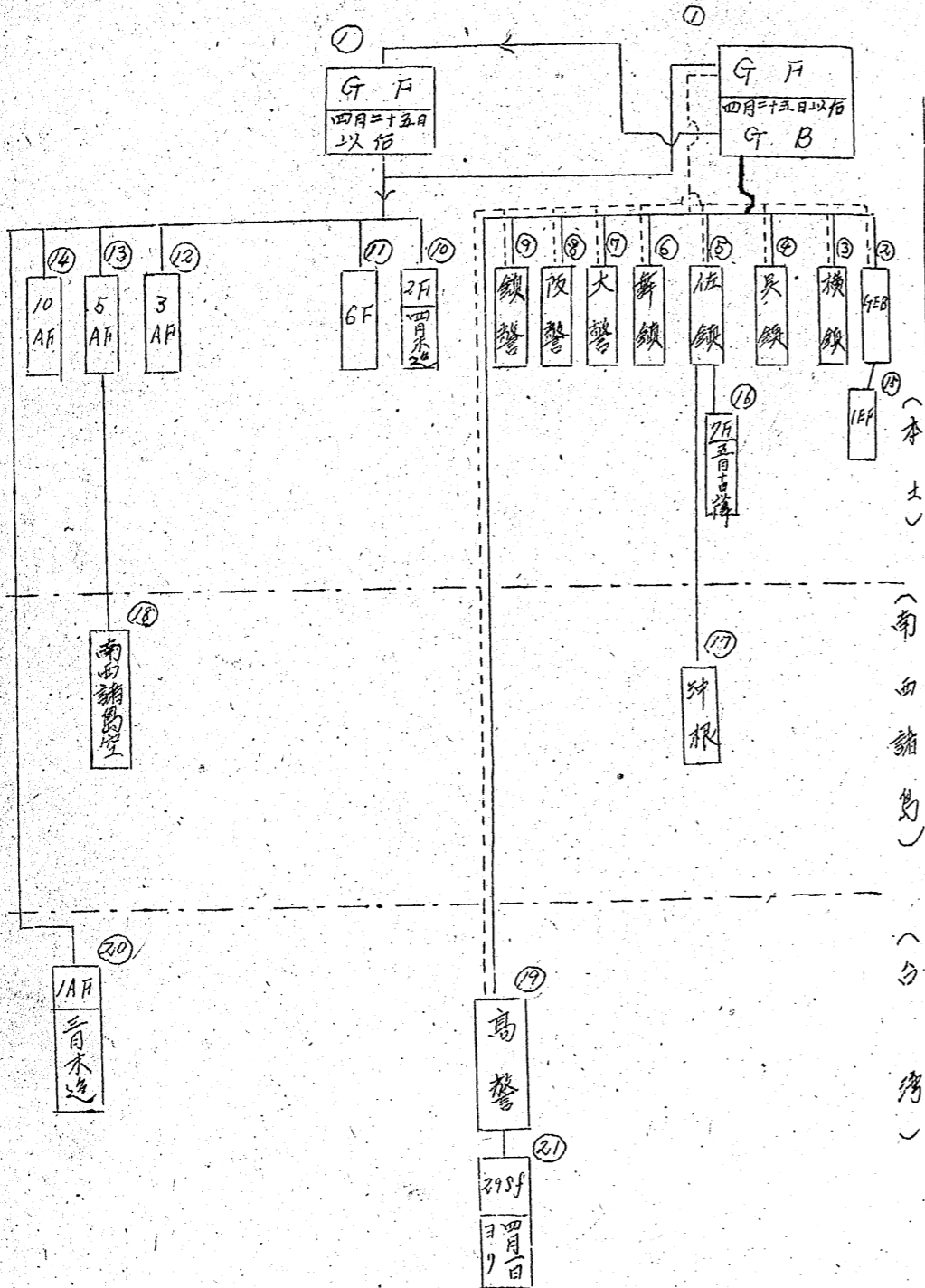
備 用 書

一九四五年十月十八日

陸軍省海軍分科會第七號ニ對スル回答

史 實 調 査 部

(1) (1) (1)



南西諸島  
 分島  
 南西諸島  
 本土



（註）

（一）符號ハ附表ヲ参照サレ度

（二）四月八日以降 1GA 2GA 5HA 17HA 司令官ハ陸上作戰ニ關シ所在海軍陸上作

戰部隊ヲ併セ指揮シ各其ノ全作戰地域内ノ陸上作戰ヲ統一指揮ス

（三）水上及水中作戰ハGF 司令長官之ヲ統一指揮ス

（四）六月二十五日以後高層ハ作戰ニ關シ第十方面軍司令官ノ指揮ヲ受

（五）298F<sup>ク</sup>ハ七月一日以後 8FD ノ指揮ヲ受ク

（六）指揮官及幕僚名簿附表ノ通

三、三月二十五日中部太平洋ニ在ル日本軍ニ對スル戰闘命令及當時ノ海軍ノ配備

（1）中部太平洋方面ノ部隊ニ對シテハ一月二十日作戰方針ヲ指示セル

外特ニ命令ヲ發シ居ラズ

右方針要旨次ノ如シ

（1）中部太平洋方面作戰ノ目的ハ中部太平洋ニ來攻スル敵ヲ擊破シ

要地ヲ確保シ以テ敵兵力ノ牽制敵后方ノ脅威ヲ計ルト共ニ敵線背後ノ情報ヲ獲得シ全軍ノ作戰ヲ容易ナラシムルニ在リ

(2) 隨機一部ノ海空部隊ヲ以テ挺進シ敵ノ後方輸送ヲ擾亂脅威シ補給ノ妨害ヲ圖ル

所在部隊ハ自活自戰シツツ積極的作戰目的達成ニ努メ且前項ノ挺進奇襲作戰ニ協力ス

(四) 海空軍ノ配備

4. (内南洋司令部ハ「トラツク」) 陸戰兵力ノ外海上及航空兵力ヲ配備シアラズ

三月二十五日頃ノ情報判斷

三月十八日米機動部隊ノ九州方面進軍ニ對スル反撃ニ於テ裕官ノ戰果ハ以上大破一ヲ收メタリトノ報告ニ基キ米軍ハ一應「ウルシ」ニ歸投四月上中旬ヲ期シ南西諸島ニ來攻スベシト予期シ居タル所ニ十五日ニ至リ輸送船團ヲ襲フ大部隊良間ニ侵入同島ヲ奪取セリトノ報アリ

右ハ沖繩攻撃ノ前提作戦トシテ實施セルモノニシテ米軍ハ同泊地ヲ利用シ上陸部隊ヲ輸送船ヨリ上陸用舟艇ニ移乗セシムル目的ヲ有シ有シアリト判斷セリ

當時我航空兵力ハ尙繰成遂上ニシテ機動部隊攻撃ニ充當スベキ兵力トシテハ九州ニ展開シアリシ<sup>5A.F</sup>(約四〇〇機)外陸海軍ヲ通シ精銳ナルモノナキ情況ナリシヲ以テ之ヲ過早ニ輸送船攻撃ニ充當セバ必然的ニ之ガ大損耗ヲ予期セザルベカラザル所斯クテハ爾後ノ作戰極メテ困難ナルベキヲ慮リ船團攻撃ヲ差控ヘ機動部隊攻撃ノ好機捕捉ニ專念セリ(當時船團攻撃ハ陸軍ノ任務ナリシモ航空兵力ノ戦力不充分ナリシノミナラズ兵力展開著ク遅レアリタリ)

#### 四 南西諸島防衛ニ關スル作戰命令指示ノ摘録

(1) 南西諸島ニハ予ノ所要ノ戦力ヲ投入シ防備ヲ強化シテ凡ユル作戰準備ヲ整フルト共ニ機ヲ失セズ航空戦力ヲ集中増加シテ敵來攻部隊ヲ撃碎セントス

(イ) 實際問題トシテ海軍ハ十二月頃ヨリ陸軍一師團增加投入ヲ主張セルニ對シ陸軍ト意見一致セズ非常ニ遲レテ一師團隊ヲ臺灣ヨリ移動スルコトニ決シタルモ遂ニ時機ヲ失シ投入不可能トナレリ)

(ロ) 海軍ハ南西諸島ノ戰略的基安任ニ鑑ミ凡ユル努力ヲ盡シ假令航空及水上全兵力ヲ投入消耗スルモ之カ確保ヲ期ス之ガ爲本土防衛作戰準備ニ支障ヲ生ズルモ之ヲ忍ブコトトシ當時九州ニ在リシ臺灣ニ在リシ<sup>1AF</sup>ヲ本作戦ニ充當スル外關東方面ニテ<sup>5AF</sup>兵力中<sup>5AF</sup>程度稍向上シアリシモノヤ<sup>5AF</sup>ニ増勢シテ作戰セシム

(ハ) 航空攻撃目標ハ最初敵機動部隊ニ限定ス

四月一日以後輸送船團ニモ之ヲ指同シ尙四月七日第三二軍反撃時前後ハ敵水上部隊ニ對シ攻撃ヲ指同セリ

爾後ハ<sup>5AF</sup>兵力優秀ナル部隊ヲ對機動部隊用ニ<sup>5AF</sup>増置シ下部ヲ擧ゲテ沖繩周邊艦船攻撃ヲ行ハシム(菊水作戰ト稱ス)

(ニ) 地上防衛ハ全島主要部隊確保ノ方針ヲ以テ來攻部隊ノ水際擊滅ヲ期シ居タリシモ現地三二軍ハ兵力量ノ關係ヨリ一時北中飛行場附近

3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3

陣地ヲ撤退シ那覇朝風邊ニ集結行久態勢ヲ執ラレントシタルヲ以テ諒本部ニ申入之ヲ修正セシメタリ

(ハ)然レ共兵力不足ノタメ實際問題トシテハ米軍ノ上陸正面ノ兵力ハ極メテ手<sup>考</sup>ナリシコトハ易々トシテ上陸ヲ許シタル原因ナリ

(ニ)水上部隊ハ好機ニ投ジ沖縄泊地ニ突入セシメ特攻攻撃ヲ行ハシム

(ハ)潜水艦ノ大部ハ「マリアナ」沖縄及「ウルシー」沖縄ノ中間ニ配シ后方遮断ヲ行フ

(ト)極力沖縄方面ニ對シ彈藥兵器ノ補給ヲ行フ

(ハ)空襲部隊ヲ以テ増援並ニ被占領航空基地ニ對シ擾亂攻撃ヲ行フ

五母艦航空部隊ノ攻撃ニ對スル本土防衛計畫  
(イ)三月ヨリ五月末迄頃ハ敵機動部隊ニ對シテハ不斷ニ好機ヲ捕捉シテ之ヲ漸滅チ圖ル一般方針ナリシモ實際問題トシテ當時ハ航空戰刀鍊成完了シアラザリシヲ以テ攻略部隊ヲ伴ハザル機動部隊ニ對シテハ特ニ好機アル場合ノ外兵力ノ避退温存ヲ行ハザルヲ得ザリキ  
尙敵機動部隊兵力漸減ノ爲丹作戰ハ根據地在泊中之ヲ奇襲(一)ヲ行フ

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

(四) 六月ヨリ七月中旬頃迄射要兵カヲ減カサレザル如ク徹底濫存ノ方針ヲ執ル

(ハ) 七月中旬ヨリ八月十日大方針ニ變化ナキモ機動部隊ニ依ル空襲被害甚大特ニ航空機ノ濫存困難トナリシキノナラズ海軍ニ在ル重要工場ガ艦砲射撃ヲ蒙ル等機動部隊ノ行動ヲ制壓スルノ要ニ迫ラレ本土及朝鮮各地區ニ對機動部隊用攻撃機隊(各機ヲ特攻機二〇機)ヲ伏勢シ置キ好機反撃ヲ行ハシムルコトニ計畫ヲ變更ス

(ニ) 八月十一日以降兵力濫存ヲ考慮スルコトナリ好機ニ投ジ積極的Kaノ濫滅ニ努ム

六、右計畫及命令ヲ實行セル簡潔ナル戰術報告

(イ) 二月十六日關東方面來襲時ハ策敵ヲ實施シタルモ殆ド敵情不明琴星約十五機ヲ以テ策敵攻撃ヲ實施セルモ米機動部隊上空附近ニ到達スルヲ得ズ全滅ス其ノ他ハ既定計畫ニ基キ攻撃セズ

(ロ) 三月十八日九州方面來襲直前ハ未々録版不充分ナルカ他面沖繩方面來

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3



攻切迫シアリトノ判断モアリ攻撃力温存カニ副シ中央ニ於テモ議論アリテ決定遅レ十六日避退温存ノ命令ヲ出シタルモ九州ニ在リシニ於テハ避退準備中恰々敵ノ來襲ニ遭遇シ大部ノ兵力ヲ以テ反撃ヲ實施セリ相當ノ戦果ヲ收メタルモノト認ム

(イ) 七月十日關東方面來襲ニ引續ク約二十日間ノ敵機部隊ノ間斷的連續攻撃ニ對シテハ初期ハ全然反撃ヲ加ヘザリシノミナラズ策敵モ充分行ヒ得ザリキ

之カ爲十四、五日ノ東北、北海道方面ハ殆ド完全ニ奇襲サレタル結果トナリ釜石及室蘭製鐵所ノ甚大ナル被害ヲ蒙レリ

十四、五日ノ空襲以後當該地區擔任航空艦隊ニ於テ十機乃至二十機ヲ以テ反撃ヲ加ヘタルモ有效ナル打撃ハ加フルヲ得ザリキ

ト本作戦間ノ日本軍損害

(イ) 艦艇ノ損害

115 (資料調査中)

海軍航空機損害 (三月十八日ヨリ六月末日ニ至ル)

(註) 陸軍航空兵力ニ關シテハ目下資料ナシ  
 八一九四五年六月二十一日ニ於テ之ノ情況判明

(1) 沖繩防衛作戰下海陸軍航空兵力ノ累次ニ亘ル反響ニ依リ米海上兵力ニ多大ノ損耗ヲ與ヘ地上部隊ノ取圍ト相俟キ米軍ノ次期進攻ヲ

消耗機數	使用延機數		
	計	攻	直撃哨戒
戰闘被害	計	攻	直撃哨戒
(内特攻九七四)	四七六三	四二三二 (内特攻二〇六四)	五三一
地上被害	六〇三 (内特攻八以上)		
二三〇	一五二		
其他	二七		
九三	一七九		
計	一六九七	一七九	一八七六
			五三六六

九州ヲ基地トスルモノ

臺灣ヲ基地トスルモノ

計

3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

相首遷延セシノ待タルモ地上兵力甚少ナリシ爲悉ニ之ヲ敵手ニ  
委スルノ已ムナキニ至レリ

航空攻撃ノ好機ハ尙存スルモ米基地航空兵力増勢ノ情況竝ニ我  
本土防衛作戰兵力控直上戦闘機掩護下ノ沖縄方面臺間砲臺ハ二  
十一、二日ノ菊水十號作戰ヲ以テ打切り爾後ハ主トシテ夜間攻  
撃ヲ以テ續行スルノ要アリ

(天號作戰ノ戰果大破以上 A 11 a 13 B 5 0 9 ト判斷)

(四) 米ノ次期進攻判斷

急速對日終戰ヲ所期シ速戰速決方針ヲ以テ本土要域ニ來攻スベ  
シ進攻経路ハ先ツ南西諸島ヲ逐次滲透的ニ攻略シ次イデ九州南  
部四國方面ヲ奪取シ海空基地ヲ整備シ之ガ利用ヲ計リツツ關東  
方面ニ來攻スル算ナリ

其ノ時機ハ九州四國方面ニ到シテハ八月頃關東方面ニ對シテハ  
秋季以降ト予期ス尙沖縄、硫黃島「マリアナ」方面航空力ノ躍

進的強化ヲ計リ本土ヲ襲テ敵化シ国力ノ低下戰意喪失、交通線ノ遮斷ヲ強化スベシ

(イ) 對 策

敵來攻部隊ヲ海上ニ捕拏撃滅スルコトニ努ムベキモ早期(夏季)來攻ノ場合ハ全軍特攻ヲ以テ反撃スル場合ト雖モ約半量ノ敵地上兵力ニハ上陸ヲ許スコトトナルベシト予想スルヲ以テ本土ニ於ケル地上戰ヲ覺悟シ之ニ對スル充分ナル準備ヲ整フル要アリ尙敵ノ來攻ガ遲延スル場合ニハ作戰カ有利トナリ海上撃滅ノ可能任ガ増大スベキモ他面空襲下ノ生産維持並ニ航空燃料増産ニ一層努力ノ要アリ

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

九沖繩失陷ノ結果戰略並ニ戰術計畫ノ變更

(イ) 本土防衛態勢ノ急遽強化ヲ促進シ特ニ敵來攻徑路ガ沖繩失陷ニ依リ  
明瞭トナリタルヲ以テ戰備ノ重點ヲ先ツ南九州及四國ニ置クコトト  
ナレリ

(ロ) 本土防衛上必要ナル航空邀撃戰力維持上攻略部隊ヲ伴ハザル敵母體  
群ノ來襲時ニハ兵力湊存ニ努ム

(ハ) 敵ノ攻略作戰ニ對シテハ練習機ヲ含ム全航空兵力ヲ以テ專ラ輸送船  
ヲ特攻攻撃ス

(ニ) 防空態勢強化ノ爲陸海軍ノ防空用航空兵力ノ綜合使用ヲ行フ如クス  
(陸海軍航空兵力全部ヲ一指揮下ニ置ク案ハ主トシテ通信施設ノ不  
備ノ爲實現ヤズ)

(ホ) 主要海峽防衛ノ強化ヲ計ル

(ヘ) 水上艦艇ヲ確度ニ減員シ急速航空水上水中特攻充實ヲ期ス

(ト) 海上交通確保ノ爲小艇船輸送ニ轉換ヲ計ル(必戰時迄ニ目的ヲ達ヤ  
ズ)

(陸軍ニ於テハ中南支兵力ノ中支集結、北支方面ヨリ滿洲へ移動シ  
又關東軍ノ内地及朝鮮轉用ヲ行フ)

(終)

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123

(附表) 指遣官及参係名簿 (指抓内付時解説)

部	隊	指遣官	参謀長	先任参謀
(1) GF	(聯合警隊)	豊田大將	草鹿中將	神大佐
(1) GB 兼 GF	(海軍總隊)	小澤中將 (六月一日)	矢野少將 (五月十日)	山岡大佐 (六月二十日)
(2) GEB	(護衛總隊)	野村大將	西尾中將	大井大佐
(3)	横須賀鎮守府	塚原大將	横井忠少將	小野大佐
(4)	吳鎮守府	澤本大將	高本少將	井上大佐
(5)	佐世保鎮守府	杉山中將	石井少將	土井大佐
(6)	舞鶴鎮守府	田結中將	鳥越少將	高塚大佐
(7)	大湊警備府	宇垣中將	鹿目少將	永田大佐
(8)	大阪警備府	胸中將	松崎少將	中杉大佐
(9)	鎮海警備府	山口中將	勝田少將	一色大佐
(10) 2F	(第二艦隊)	伊藤中將	森下少將	山本大佐
(11) 6F		三輪中將	佐々木少將	井浦大佐

2 3 4 5 6 7 8 9 (70) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (80) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (90) 1 2 3

	(12)	3AF	(第三航空艦隊)	寺岡中將	山澄大佐	佐々木大佐
	(13)	6AF		宇垣中將	横井少將	宮崎大佐
	(14)	10AF		前田中將	山本少將	井上大佐
	(15)	11AF	(第一護衛艦隊)	岸中將	後藤少將	南大佐
	(16)	7F		沖繩根據地隊	太田少將	
	(17)			南西諸島空	川村中佐	
	(18)			高雄警備府	福田中將	重永少將
	(19)	1AF		(第二十九航空戰隊)	大西中將	近井大佐
	(20)	29AF	(陸軍符號)	中澤少將	菊地少將	猪口大佐
						安延大佐
GA 總軍						
HA 方面軍						
FD 飛行師團						

(終)

り (11) 65)

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33



終り(二)まで

寺井部員

昭和二十年十二月七日

十二月五日附照會ノ  
NAV 第七號ニ對スル追加回答

史實調査部